

店舗名	
-----	--

※店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額を支給申請書に転記してください。  
 ※支給額の算定においては、テイクアウトやデリバリー等を除いた売上高を用いてください。  
 ※売上高方式又は売上高減少額方式のいずれかを提出してください。

### 店舗ごとの協力金支給申請額計算書

#### **(B区域)**

以下のフロー図の質問を基に、該当する計算方法を選択していただき、数値を入力してください。支給額等を必ずご確認のうえ、「上記内容で申請します」にチェックしてください。

#### 【売上高方式】

中小企業ですか？

※ 中小企業は、飲食業については資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が50人以下の会社及び個人。ただし、カラオケなどのサービス業については、資本金の額又は出資の総額が5,000万円以下の会社又は常時使用する従業員の数が100人以下の会社及び個人。

はい いいえ

令和元年又は令和2年いずれかの6月の売上高の合計は、2,499,990円（1日当たり83,333円）を越えますか？

いいえ又は不明  
 ※令和2年6月2日以降に開業の場合は「新規開業店特例」へ

売上高減少額方式をご利用ください

令和元年又は令和2年いずれかの6月と令和3年の6月の売上高減少額の合計が750万円（1日当たり25万円）を超えている場合は、売上高減少額方式も選択可能です。

25,000円 ×

時短協力日数（20日）	
日	

=

当該店舗の支給額	
円	

※定休日・休業日も支給対象です。

上記内容で申請します

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。  
 ※売上高等は全て**税抜き**で記入してください。

令和元年又は令和2年6月の売上高
① <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 20px;"></span> 円

÷ 30 日 × 0.3 =

令和元年又は令和2年6月の1日当たりの売上単価
② <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 20px;"></span> 円

↓ 千円単位切上  
 令和元年又は令和2年6月の1日当たりの売上単価  
 ③  円  
 【上限7.5万円】

令和元年又は令和2年6月の1日当たりの売上単価
③ <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 20px;"></span> 円

×

時短協力日数（20日）	
④ <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 20px;"></span> 日	

=

当該店舗の支給額	
⑤ <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 20px;"></span> 円	

※定休日・休業日も支給対象です。

上記内容で申請します

※シートには保護がかかっており、色付きのセル及びチェック欄（）のみ入力可能です。  
 ※のセルで「チェック」と入力して変換すると、になります。

※課税事業者の場合は売上高は全て**税抜き**で記入してください。

【別紙② **(B区域)**】

店舗名	
-----	--

※店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額を支給申請書に転記してください。

※支給額の算定においては、テイクアウトやデリバリー等を除いた売上高を用いてください。

※売上高方式又は売上高減少額方式のいずれかを提出してください。

### 店舗ごとの協力金支給申請額計算書

**(B区域)**

#### 【売上高減少額方式】

令和元年又は令和2年いずれかの6月と比べて 令和3年の6月の売上高は減少していますか？
------------------------------------------------

はい

いいえ

申請できません

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

※売上高等は全て**税抜き**で記入してください。

令和元年又は令和2年6月の売上高計	令和3年6月の売上高計	令和3年から令和元年又は令和2年6月の売上高減少
①	②	③
円	円	円

令和3年から令和元年又は令和2年6月の売上高減少	÷ 30 日 × 0.4 =	令和元年又は令和2年6月の1日当たりの売上高減少単価
③		④
円		円

千円単位切上

令和元年又は令和2年6月の1日当たりの売上高減少単価
⑤
円

【上限額】 20万円又は令和元年若しくは令和2年6月の1日当たり売上高×0.3のいずれか低い額

令和元年又は令和2年6月の売上高計	÷ 30 日 × 0.3 =	
①		⑥
円		円

※売上高等は全て**税抜き**で記入してください。

20万円又は⑥のいずれか低い額
⑦
円 = 上限額

千円単位切上

令和元年又は令和2年6月の1日当たりの売上高減少単価【上限あり】	×	時短協力日数 (20日)	=	当該店舗の支給額
⑧		⑨		⑩
円		日		円

※定休日・休業日も支給対象です。

上記内容で申請します

※シートには保護がかかっており、色付きのセル及びチェック欄 (□) のみ入力可能です。

※□のセルで「チェック」と入力して変換すると、□が☑になります。

※課税事業主の場合は売上高は全て**税抜き**で記入してください。

【別紙② **(B区域)**】

店舗名	
-----	--

※店舗ごとに作成し、当該店舗の支給額を支給申請書に転記してください。

※支給額の算定においては、テイクアウトやデリバリー等を除いた売上高を用いてください。

### 店舗ごとの協力金支給申請額計算書

**(B区域)**

【新規開業店（開業後1年未満の場合（令和2年6月2日以降に新規開業））の特例】

開業日 ①				第1期からの継続申請 第2期からの継続申請 ↑該当する場合「1」を入力	
開業日～令和3年5月31日※の売上高 ② 円	÷	開業日～令和3年5月31日※の日数 ③ 日	× 0.3	=	開業日～令和3年5月31日の1日当たり売上単価 ④ 円
※売上高等は全て <b>税抜き</b> で記入してください。					
千円単位切上					
↓					
当該店舗の売上単価 ⑤ 円 【上限7.5万円 下限2.5万円】					
当該店舗の売上単価 ⑤ 円	×	時短協力日数（20日） ⑥ 日	=	当該店舗の支給額 ⑦ 円	
※定休日・休業日も支給対象です。					
<input type="checkbox"/> 上記内容で申請します					

※第1期からの継続申請は4月25日、第2期からの継続申請は5月11日。

【新規開業店（時短営業の要請期間中（令和3年6月1日～令和3年6月20日）に新規開業）の特例】

当該店舗の売上単価 ① (定額) 25,000 円	×	時短協力日数 ② 日	=	当該店舗の支給額 ③ 円	
※定休日・休業日も支給対象です。					
<input type="checkbox"/> 上記内容で申請します					

※シートには保護がかかっており、色付きのセル及びチェック欄（）のみ入力可能です。

※のセルで「チェック」と入力して変換すると、になります。